

マタイ 52

どこに希望を置くべきか

マタイ福音書21:1~17 エルサレム入城・宮きよめ

shikaoichurch.com



13

キリスト教界の現実とは？

- …世の価値観が福音派まで侵食
- …既存の制度的教会は、衰退の一途
- …「福音派」に対するデマの拡散
- …偽教師の乱立。深刻な混迷、混沌

どこに希望を置くべきか？

14

どこに希望を置くべきか？

①人々は熱狂したが…

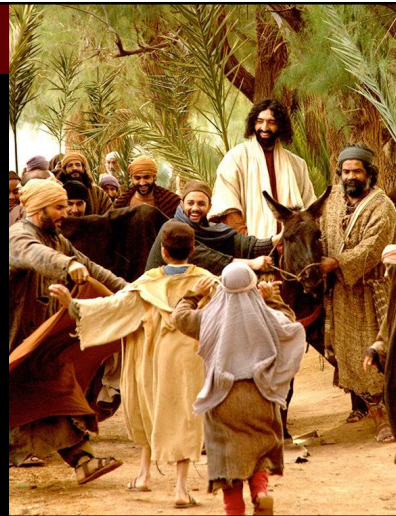
21:1~11

②現実は一層厳しく、

21:12~14

③メシアは拒絶された

21:15~17



聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

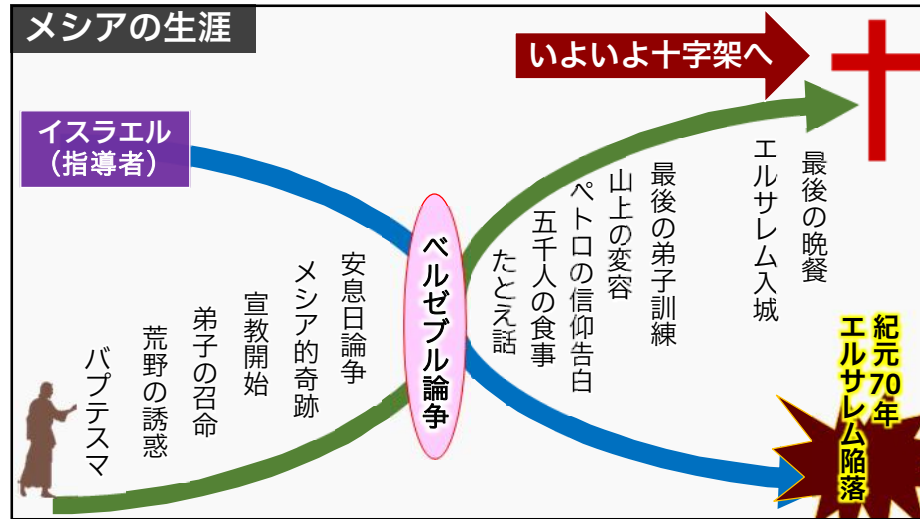
15

エルサレムに向かうメシア

- 宣教の拠点だったガリラヤを離れ、エルサレムへ上るイエス。
- 過越の祭りの巡礼者が、大勢、街道を行く中、エリコに立ち寄る。
- 一日の距離を経て、エルサレムへ



16



17



18

①熱狂の中 ベテパゲで マタイ21:1

さて、一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとの**ベテパゲ***まで来たそのとき、イエスはこう言って、二人の弟子を遣わされた。

*オリーブ山の東にある村
 ■エルサレムの都は目と鼻の先。

19

①熱狂の中 子ロバ マタイ21:2～3

「向こうの村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばがつながれていて、一緒に子ろば*がいるのに気がつくでしょう。それをほどいて、わたしのところに連れて来なさい。

もしだれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです*』と言いなさい。すぐに渡してくれます。」

*人を乗せたことがない、成獣手前のろば。
 *超自然的な手配。
 これもメシアの正統性を示す奇跡の一つ。

ろば・イスラエル

20

①熱狂の中 預言の成就 マタイ21:4

このことが起こったのは、預言者を通して語られたことが成就するためであった。

- 重要なのは、奇跡よりも主の預言。
神のことばの確かさの証明としての奇跡。



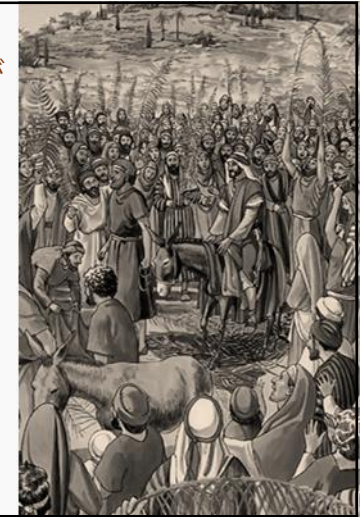
21

①熱狂の中 王の来臨 マタイ21:5

「娘シオンに言え。『見よ、あなたの王があなたのところに来る。柔和な方で、ろばに乗って。荷ろばの子である、子ろばに乗って*。』」

*ゼカリヤ書9:9からの引用(まとめ)

- ゼカリヤ書のメシア預言が成就。
→メシアは、平和の王としてろばに乗って来られる。

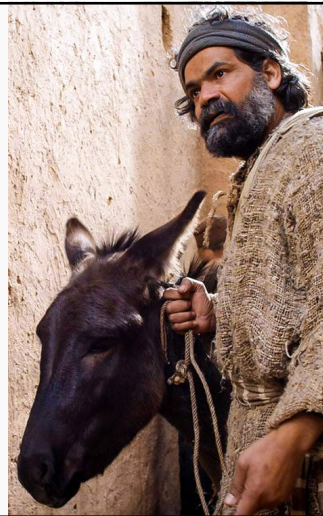


22

①メシア 命令通りに マタイ21:6~7

そこで弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろば*を連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。

- *命令は、子ろばを連れて来なさい。
→親ろばを連れてきたのは弟子の判断



23

①メシア 群衆 21:8

すると非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた*。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。

- *王を迎える最上の儀礼。
なつめ椰子の葉をふる者も
(ヨハネ12:13)
- 王としてメシアを迎える群衆。
しかし、仮庵祭(再臨)の前に、
過越祭(受難)が待っている。



誰も理解していない
メシアの受難

24

①メシア ホサナ マタイ21:9

群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。「ホサナ*、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。」

*“お救いください”…ヘブル語

*詩編118:25～26…千年王国・王の即位

■イエスは、人々を黙らせようとする
パリサイ人たちを黙らせ(ルカ19:40)、
エルサレムの裁きに涙した(ルカ19:42)。



25

①メシア 都の騒ぎ マタイ21:10～11

こうしてイエスがエルサレムに入られると、都中が大騒ぎになり、「この人はだれなのか」と言った。

群衆は「この人はガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言っていた。

■人々がメシアとして迎え入れたのは何者？

民は、メシアの来臨・神の国の建設を叫んだが…



26



②現実には厳しく 21:12～14

「宮きよめ」byティソ

27

②厳しい現実 宮きよめ マタイ21:12

それから、イエスは宮に入って、その中で売り買いしている者たちをみな追い出し、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。

■独占した両替商は高額な両替料を徴収。

犠牲の動物を売る者は循環商法で大もうけ。

■大祭司一族が、神殿ビジネスの利権を支配。

■メシアを迎え入れられる神殿ではなかった。

メシアご自身が、神殿をきよめられた!!



28

② 厳しい現実 メシアの権威 21:13~14

そして彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣*』にしている。」

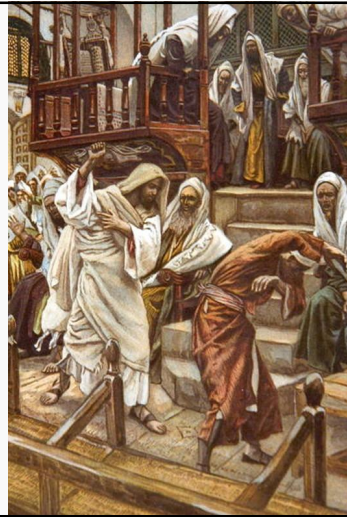
また、宮の中で、目の見えない人たちや足の不自由な人たちがみもとに来た*ので、イエスは彼らを癒やされた。

*エレミヤ7:11…この時代も破滅が迫る

*けがれた宮では解決されない苦しみ

■宮きよめも、癒やしも、

神の権威による、メシアの御業。



29



③ メシアは拒絶された マタイ21:15~17

第二神殿・復元模型

30

③ 拒絶 立腹する者 マタイ21:15

ところが祭司長たちや律法学者たちは、イエスがなされたいろいろな驚くべきことを見て、また宮の中で子どもたちが「ダビデの子にホサナ」と叫んでいるのを見て腹を立て、イエスに言った。

■メシアには、神殿をきよめる権利と権威がある。神の正当性。

➔メシアを認めない者たちには、決して受け入れられないこと!!



31

③ 拒絶 幼子の賛美 マタイ21:16

「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました*』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

* 幼子の叫びもメシア預言の成就(詩8:2)

➔イエスこそ、
被造世界を治める「人の子(メシア)」



32

③拒絶 **ベタニアへ** マタイ21:17
 イエスは彼らを後に残し、都を出てベタニア*に行き、そこに泊まれた。

*過越祭当日までの滞在地。

**十字架を目前に
メシアの最後の宣教が!!**

33

まとめと適用 **どこに希望を置くべきか？**

オリーブ山

34

まとめ **希望はどこに置くべきか？**

①人々は熱狂したが …人々は、ろばに乗ったメシアを王として都に迎え入れた

②現実 is 厳しく …けがれきっていた神殿をメシアは、きよめられた

③メシアは拒絶された …明確にメシアが示した神の権威を指導者たちは拒絶した

私たちが目をとめるべきは、メシアご自身だけ!!

35

まとめ **人々が誤解していたこと**

人々が理解しなかったのは、メシアは二度来ること

①初臨のメシア …ゼカリヤ書9章9節の本当の意味
 →初臨のメシアは、ろばに乗り、平和の王として、**受難**のため来られる。

②再臨のメシア
 →再臨のメシアは、馬に乗り、王の王、主の主、裁き主として来られ、**神の国を建設**される（黙示録19章）

36

適用 今の時代の向かう先 マタイ24:7~12

民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。

しかし、これらはすべて**産みの苦しみ**の始まりなのです。そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

37

適用 希望はどこに置くべきか？

受難を経て、栄光に至ったメシアのように、今の時代も、艱難を経て、神の栄光に入る。

- ①人々は熱狂するが …誤った聖書理解が生む熱狂がある。繁栄や自由・解放の強調。
- ②現実 is 厳しく …教会内部から生じる腐敗と衰退
- ③メシアは拒絶される …主イエスの十字架と復活が拒絶

主イエスを仰ぎ見、主イエスの道を歩み続けているか？

38

適用 永遠の命に至る、私たちの道のりとは？

①キリストの受難と栄光

神が計画されていた、主イエスの十字架の死と復活。主イエスは、栄光に至る前に、受難を通過する必要がある!!

②信仰者の試練と栄光

十字架の死と復活の福音を信じた者には、復活が約束。栄光の体に至る前に、十字架の道・世の試練を通過!!

試練の中で仰ぎ見、待ち望むべきは、栄光のキリスト

39

適用 世界をきよめられる主イエス

「また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「確かで真実な方」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。黙19:11」

- 神殿をきよめられた主イエスは、世の終わり、全人類を裁き、全世界をきよめられる。
- 主イエスが建てられた神の王国に、主に信頼したすべての者は栄光の体で迎え入れられる。

「マラナタ・主よ来てください」 再臨の主を待ち望もう

40

適用 **今の時代の先にある希望** マタイ24:9～13

そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。
また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に
憎まれます。

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。
不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

忍耐とは、主を仰ぎ見、主に信頼して、今を歩むこと。

41

★ どこに希望を置くべきか？ ★

■ 産みの苦しみの時代、世界も教会も混迷を深めて行く。
受難の中で、弟子たちの信仰が守られたように、
私たちの信仰が守られるように祈ろう。

■ 受難を経て、栄光に至った主イエスのように、
私たちも試練を経て、最後には栄光の体に至る。

■ 世の闇が増すほど、栄光の主を仰ぎ見よう。
世が混沌を深めるほど、固く真理の御言葉に立とう。

マラナタ!! 主イエスに希望を置いて待ち望もう!!

42

「てんのお父さま。わたしたちの罪をゆるしてください。

わたしたちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

① わたしたちの罪を贖うために十字架で死なれ、

② はか墓に葬られ、

③ みっかめ三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ主イエスが、受難を経て、栄光に至られたように、

わたしたちも、世の試練を経て、栄光の体に至ります。

マラナタ。主を待ち望みつつ、今日、この日に遣わしてください。

かんしゃ感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

43